

実務経験のある教員による授業科目一覧：2022年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間学部 心理学科	学部共通科目	歴史と地域文化	2	2	久保智康	県立博物館・国立博物館学芸員	県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。
人間学部 心理学科	学部共通科目	人間と環境A	1	2	鳴瀬碧	薬剤師・健康運動指導士・ピラティストトレーナー	薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストトレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚醒剤・デザイナーズドラッグに関する基本的知識や危険性などについて解説する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	人間と環境B	2	2	大久保嘉雄	元高校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、「人間はどのような自然環境と関わるべきか」を、生物の生活や行動、生態系、生物多様性などを進化の視点を交えて解説する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	情報処理演習a	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を事例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを開発する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	情報処理演習b	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を事例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを開発する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅠ	1	2	樋月百枝	アナウンサー	民間放送局のアナウンサー(社員)として勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや実践方法等について講義する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	元情報通信会社で管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間学部 心理学科	学部共通科目	フィールドワーク演習 (インターンシップ)	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	元情報通信会社で管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。
人間学部 心理学科	専門科目	臨床心理学概論Ⅰ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。
人間学部 心理学科	専門科目	臨床心理学概論Ⅱ	2	2	稲木康一郎	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理臨床現場における各領域の心理療法の実践事例と、臨床実践における留意点について解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	心理面接演習	3	2	稲木康一郎 坂井祐円	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	健康・医療心理学	2	2	渡辺克徳	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。
人間学部 心理学科	専門科目	感情・人格心理学	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	心理的アセスメント	2	2	森俊之	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。
人間学部 心理学科	専門科目	心理検査演習	2	2	吉水ちひろ	公認心理師、臨床心理士	公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2022年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	歴史と地域文化	2	2	久保智康	県立博物館・国立博物館学芸員	県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	人間と環境A	1	2	鳴瀬碧	薬剤師・健康運動指導士・ピラティストトレーナー	薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストトレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚醒剤・デザイナーズドラッグに関する基本的知識や危険性などについて解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	人間と環境B	2	2	大久保嘉雄	元高校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、「人間はどのような自然環境と関わるべきか」を、生物の生活や行動、生態系、生物多様性などを進化の視点を変えて解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	情報処理演習a	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	情報処理演習b	2	2	竹村順吾	インターネット関連企業勤務	IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅠ	1	2	樋月百枝	アナウンサー	民間放送局のアナウンサー(社員)として勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや実践方法等について講義する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種：情報通信、社員数：約26万人)の管理職(主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間学部 コミュニケーション学科	学部共通科目	フィールドワーク演習 (インターンシップ)	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種：情報通信、社員数：約26万人)の管理職(主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	デジタル・デザイン	1	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	メディア・デザイン	2	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	マルチメディア演習	3	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	デザインマネジメント論	4	2	吉村正照	WEBデザイナー	WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、企画制作について演習を行う。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	ビジネスコミュニケーション研究	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種：情報通信、社員数：約26万人)の管理職(主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	企業と情報	3	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種：情報通信、社員数：約26万人)の管理職(主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。
人間学部 コミュニケーション学科	専門科目	ライティング技法	2	2	野尻昌明	広告ディレクター	広告ディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2022年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講 学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間生活学部 健康栄養学科	人間生活学部 学部共通科目	生活と環境D	2	2	藤原英一	総合建設コンサルタント(都市計画、建設、土地区画整理等)勤務	都市計画やまちづくりの専門家としての経験を有する教員が、まちづくり、景観、シックプライド等の視点から、持続可能な地域社会を実現するうえで必要となる知識や考え方の体得、地域社会に対して主体的に行動する意識の醸成を目的として講義を行う。
人間生活学部 健康栄養学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅠ	1	2	植月百枝	アナウンサー	民間放送局のアナウンサー(社員)として勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや実践方法等について講義する。
人間生活学部 健康栄養学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)	企業(業種:情報通信、社員数:約26万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床栄養学Ⅰ (栄養療法)	2	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、疾患別にその発症機序、臨床症状に応じて、疾患の改善に必要な条件を栄養学の面から明らかにし、栄養食事療法の意義や方法・効果について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	臨床栄養学Ⅲ (チーム医療)	3	2	佐藤裕保	管理栄養士	病院勤務経験を活かし、管理栄養士に係る医療保険および介護保険の実際、医療施設および介護施設における、多職種連携の実際について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	生命科学	1	2	鳴瀬碧	健康運動指導士	脳の構造と機能および認知症の原因と予防について解説する回では、健康運動指導士としての技能を活かし、実践的なエクササイズを学生に体験させるなど、アクティブラーニングを取り入れている。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	運動生理学	2	2	鳴瀬碧	健康運動指導士・ピラティストレーナー 薬剤師	スポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士・ピラティストレーナー(個人事業主)としての実務経験を活かし、身体 の構造と機能および運動時の生理機能の変化、健康増進のための運動、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、薬物療法中 の運動のリスク等について解説する。また、スポーツと栄養についての講義では、スポーツファーマシストとして、アスリートのサポート を行ってきた経験も交えて授業を展開する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆衛生学	2	2	鳴瀬碧	薬剤師	薬剤師として医療提供施設での実務経験を活かし、国が展開する国民の健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保 障の仕組み、老人保健、母子保健、地域保健、産業保健、国際保健等、保健・医療・福祉の制度について解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆衛生学実習	3	1	鳴瀬碧	薬剤師 健康運動指導士	薬剤師として医療提供施設での実務経験とスポーツ・健康増進関連施設での実務経験、健康運動指導士としての実務経験を活かし、 健康・疾病・行動に関わる統計資料の活用方法、健康状態・疾病の測定と評価等について実習を通して理解を深めていく。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	解剖生理学	1	2	岸慎治	医師	病院での実務経験を活かし、人体の構造と機能がどのように密接に関連しているのかを理解できるように教授する。また正常な個体 として人体が行う食事、運動、休養などの基本的な生活活動の機構、並びに環境変化に対する対応機構も実際の傷病者での回復経験 等もふまえて解説する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	健康管理概論	2	2	岸慎治	医師	病院での実務経験を活かし、健康の概念とその歴史的概念および個人、集団の健康状態を把握するための健康指標、健康管理など がなぜ必要なのかを、実際にある問題について具体例を挙げながら、実践の技術、背景となる法律などについて説明する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養活動)	2	2	阿部喜代子	管理栄養士	病院や老健施設等の実務経験を活かし、日本の生活習慣病等と健康や栄養に関する現状と課題、栄養関連の保健・医療・福祉・介 護の制度と法規、地域における母子・成人・高齢者の集団及び個別の栄養評価と改善のための方策や栄養指導などの公衆栄養活 動について解説し実例を示すなどで理解が深まる内容とする。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆栄養学Ⅱ (栄養疫学)	3	2	阿部喜代子	管理栄養士	病院や老健施設等の実務経験を活かし、栄養・食事と疾病発症や健康状態の日本及び海外での栄養疫学調査について知る事で視 野を広げ、健康・栄養状態の評価については食事調査方法や身体計測や生化学検査値から習得し健診結果での課題抽出と保健指 導や疾病のハイリスクへの栄養改善プログラムの作成等の能力が養われるように保健行政の現場での実際について解説していく。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	公衆栄養学実習	3	1	阿部喜代子	管理栄養士	管理栄養士として臨床現場や健診センター及び保健行政の実務経験を活かし、地域や職域等の集団の実態把握や食生活状況の把 握の手段や方法と情報処理による分析について学び、乳幼児から高齢者までの公衆栄養活動が推進できるよう栄養関連の法規と 栄養調査法について人間栄養学の視点で解説し実際の具体的な実習を通した学びによって理解が深まるように努める。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	調理学	1	2	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、食事設計に必要な条件や具体的な調理科学理論について講義する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、調理技術の基本について実習する。
人間生活学部 健康栄養学科	専門科目	応用調理学実習	1	1	佐藤真実	管理栄養士	病院、福祉施設等での勤務経験を活かし、実際の食事設計に必要な条件を設定しながら、献立作成や環境設定を学ぶとともに高度な 調理技術について実習する。
合計単位数				30			

実務経験のある教員による授業科目一覧：2022年度

学部・学科	科目区分	科目名	開講学年	単位	教員名	経歴	実務経験と授業内容との関連性
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	文学の世界	2	2	三田村雅人	元小・中学校教諭	学校現場における教員経験を有する教員が、ふるさと教育の視点から福井県や越前市の文化や文学者について解説したり、青少年期における読書活動の意義・重要性について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	生活と環境D	2	2	藤原英一	総合建設コンサルタント(都市計画、建設、土地区画整理等)勤務	都市計画やまちづくりの専門家としての経験を有する教員が、まちづくり、景観、シビックプライド等の視点から、持続可能な地域社会を実現するうえで必要となる知識や考え方の体得、地域社会に対して主体的に行動する意識の醸成を目的として講義を行う。
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅠ	1	2	植月百枝	アナウンサー	民間放送局のアナウンサー(社員)として勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや実践方法等について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	人間生活学部 学部共通科目	キャリア・デザインⅡ	2	2	升田法継	元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。	
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教職論	1	2	伊禮三之	元特別支援学校・高等学校教諭	特別支援学校教諭・高等学校教諭として、算数・数学を中心とする授業実践とHR活動や生徒会活動などの特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	算数	2	2	伊禮三之	元特別支援学校・高等学校教諭	特別支援学校教諭・高等学校教諭として、算数・数学を中心とする授業及び生活指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	算数科教育法	2	2	伊禮三之	元特別支援学校・高等学校教諭	別支援学校教諭・高等学校教諭として、算数・数学を中心とする授業実践と生活指導実践、また小学校教員と協同して算数の教材開発や授業研究等を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「算数科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教育課程論Ⅱ	2	2	伊禮三之	元特別支援学校・高等学校教諭	特別支援学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生活指導実践を行ってきた経験と算数・数学のカリキュラム開発や学校設定科目の開発、総合的な学習の時間のカリキュラム開発等の経験と教育課程係担当の経験を有する教員が、カリキュラム編成や学習指導要領の理解等、教育課程に関わり、教員が必要とする専門性・技能等について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	教職実践演習(幼・小)	4	2	伊禮三之	元特別支援学校・高等学校教諭	特別支援学校教諭・高等学校教諭として、算数・数学を中心とする授業実践とHR活動や生徒会活動などの特別活動等の実践を行ってきた経験を有する教員が、教職の意義や教員に求められる資質や能力について実践的な活動を通して講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	理科	2	2	西出和彦	元小学校講師、元中・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	理科教育法	2	2	西出和彦	元小学校講師、元中・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「理科」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	保育内容指導法(環境)	2	2	西出和彦	元小学校講師、元中・高校教諭	小学校講師・中学校教諭・高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」の内容について、保育者の援助方法、保育計画および実践、評価について実践的に講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	保育実践演習	3	2	森尾恵里	元保育士	保育士として、保育実践を行ってきた経験を有する教員が、保育に関する諸課題について、実践的に分析、考察、検討する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	国語	1	2	三田村雅人	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容について講義する。
人間生活学部 子ども教育学科	専門科目	国語科教育法	3	2	三田村雅人	元小・中学校教諭	小学校教諭・中学校教諭として、授業実践、生徒指導実践を行ってきた経験を有する教員が、学習指導要領に示されている教科「国語」の学習指導内容およびその指導法について講義する。
合計単位数				30			